

### 子育てから生まれる絆



講師を務めた松居和さん

昨年9月29日に子育て講演会を開催しました。本年度は、埼玉県教育委員長も務めた松居和さんが「子育てから生まれる絆」と題して講演。保育園の保育士や幼稚園の教諭、保護者など約400人が参加しました。

私たちが言葉も分からない0歳児を授かる意味、子どもを育てていくことで親が親として育っていくことなどをユーモアを交えて話していただきました。興味深かったのは、埼玉県で行っている「一日保育士体験」です。保護者が保育園で一日過ごすことで、わが子、また同年代の子どもの様子をじっくりと見ることができ、保育士と一緒に保育することで、子育てのヒントも見つかるかもしれません。本市でも「保育士体験」を行っている園があります。保育士と保護者が仲良くなり、同じ方向を向いて保育・子育てすることで、子どもの成長が助長されます。

子どもは、園にお父さんやお母さんが来てくれることを大変うれしく思います。さらに〇〇君のお父さん、お母さんとして顔の見える関わりを通して、自分を見守ってくれる大人がたくさんいることに安心し、心も安定します。

本市でも「保育士体験」を推進していきたいと考えています。

#### 【参加者の感想】

島保育園保護者 古川 千春さん  
「関わり」の大切さを学びました。親も、保育士さんや他のお子さんやと直接関わる中で、喜びや気づきがあり、親として成長していくというお話に引き込まれました。そのようなつながりを大事に、今後、私たち親子がどう変わっていくのか楽しみです。

#### 幼児ことばの教室からのお知らせ

来年度の年長児(現・年中児)を対象に「ことばの巡回検査」を行っています。市内の保育園・幼稚園に通っていないお子さんも対象となりますので、検査を希望する場合は、教育委員会 就学養育課へご連絡ください。

### 先生からアドバイス

花巻ささま幼稚園園長  
平賀 貞子さん



子どもたちは、園での遊びを通して友達同士ぶつかり合い認め合いながら自信を持って何事にもチャレンジできる心と体を培っています。園と家庭と一緒に、基本的な生活習慣はもちろんのこと、話を聞く、自分の思いや考えを表現できる、人の気持ちを考えられる、物を大切に使う子どもに育つよう目を掛け、心配りをしたいですね。

花巻小学校教諭  
千葉 智子さん



返事やあいさつはご家庭でも小さいころから繰り返しつけられていることと思います。小学校入学後も毎日指導することの一つでもあります。相手に正面から向き合い、心を開いて、笑顔で交わす返事やあいさつができる子どもは、さまざまな事にじっくりと取り組むことができます。朝一番、爽やかな「おはよう」を交わしてみませんか。

ちんと持てず、食事に時間がかかると子どもがいます。箸の持ち方は鉛筆の持ち方につながりますので、しつけとして家庭できちんと身に付けさせましょう。

**A4** まずは学習に向かう態度や体力を付けることが大切です。友達と体を動かして思い切り遊ぶことで、授業に集中できる体力、友達と意見を交わすコミュニケーション力が身に付きます。また、小学校では言葉での学習が主

**Q4** 小学校の勉強についていけるかしら？

になります。遊びを通じたさまざまな体験と学校で学習した知識が結びつくことで、より深く理解することができ、体験と知識の結びつきで「ああ、そうだったのか!」という気持ちが生まれることは、学習することの喜びになります。

※市では、「共に育みましょう、あなたのお子さんを」をキャッチフレーズに子どもの健全育成に取り組んでいます。就学についての問い合わせは、教育委員会 就学養育課へ

### 就学間近

# 楽しい小学校生活が待ってるよ!



雪の中で元気に遊ぶ子どもたち(写真は、1月10日、松園保育園)

小学校への入学は子どもも親も不安がいっぱい。特に初めて子どもを小学校へ入学させる家庭では、さまざまな心配を抱えているのではないのでしょうか。

そこで、今回は小学校への就学時の注意点について考えてみます。

#### 就学前の疑問にお答えします

保育園や幼稚園から小学校へ進むことは、子どもにとっても、それを支える家庭にとっても不安がつきものです。

小学校入学前に基本的な生活習慣が身に付いていないことや、小学校の学習の先取りこそが「就学前教育」といったような誤った捉え方が、不安を一層深めてしまうこととなります。

では、小学校に期待を持って入学し、学校生活にスムーズに慣れていくためには、どんな力が付いていけばいいのでしょうか。年長児の保護者の方々によく聞かれる疑問に答えまます。

**Q1** 小学校へ入学するまでに、ひらがなを書けるようにさせた方がいいの？

**A1** 無理に教える必要はありません。正しい姿勢、鉛筆の持ち方・筆順を小学校で丁寧に指導します。入学前は、本の読み聞かせやしりとりなどの言葉遊びをたくさんすることで文字への興味が湧いてきます。しかし、子どもが覚えたいというサインを出したときは、見逃さず、教えてあげてください。

**Q2** 1年生になったらトイレに一人で行くか？授業中にいきたくらうどうしよう。

**A2** 1年生の初めにトイレの使い方を学習します。本市の小学校のトイレは洋式化され、使いやすいになりました。授業中にトイレに行きたくなったら、恥ずかしいことではありませんので、自分から言えるようにしたいですね。トイレだけでなく、困ったことがあるときには、自分から話せるようにすることは、就学前から身に付けておきたい力の一つです。家庭や園などで、大人が子どもの話をじっくり聴くことを通して、子どもは安心感や信頼感を持って話せるようになっていきます。

**Q3** 給食を全部食べるまで食べさせられたらどうしよう。

**A3** 少食の子どもには初めから少し量を減らしたり、嫌いな食べ物や一口食べられるようになることからチャレンジさせたりして対応しています。体の成長、活動量の増加に伴い、給食を全部食べられるようになります。箸がき